

## ③土砂災害リスクを見える化！ 子どもから大人まで楽しみながら学ぼう！

受賞機関 鳥取県 県土整備部 河川港湾局 治山砂防課

**キーワード** DX、AR、情報発信、土砂災害防止意識啓発、防災教育、出前講座

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

AR技術を活用し、スマートフォンやタブレット端末のカメラを通して土砂災害警戒区域の閲覧機能を追加。さらに、わかりやすいネーミングとオリジナルキャラクターを通じて、情報発信を展開。アプリ開発、出前講座、TV・ラジオ出演、SNSなど、先進的かつ多岐にわたる広報活動を積極的に展開し、アンケートでの認知度やSNSフォロワー数で広報効果を示した点が評価された。

### 1. はじめに

鳥取県では、AR技術を活用して、スマートフォンやタブレット端末のカメラを通して土砂災害警戒区域等を閲覧できる機能を追加し、いつでもどこでも土砂災害のリスクをわかりやすく、楽しみながら学べる仕組みを構築した。

また、当該機能について、わかりやすくインパクトのあるネーミングとするとともに、ここから派生させたオリジナルキャラクターを作成し、これらを活用した土砂災害防止に関する情報発信を積極的に展開している。

### 2. 事業の概要

これまで、土砂災害警戒区域等は、ハザードマップなどで平面的に示されており、どうしても、イメージがわかりにくい印象があった。そこで、子どもたちなど、幅広い世代にわかりやすく伝えるため、AR技術による土砂災害警戒区域等の閲覧機能を構築した。その結果、目の前の景色と併せて土砂災害警戒区域等を立体的にイメージできるため、出前講座等でわかりやすく、楽しみながら土砂災害警戒区域等を伝えることが可能となった。

また、この機能を多くの方に親しみを持って利用してもらえるよう工夫し、「ARみえるでござる（えーあーる、みえーるでござーる）」と韻を踏んだ名称とした。同時に、「でござる」から連想される殿や忍者をヒントに、土砂災害防止意識啓発オリジナルキャラクター「殿・爺・姫・カク忍者（確認じゃ）」を作成し、これらを活用した

広報グッズの作成、テレビ、ラジオ、CM、SNS、出前講座等の広報活動を行い、幅広い世代に効果的な土砂災害防止に関する啓発活動を展開している。

### 3. 事業の成果

テレビやラジオの放送後には、「面白い取組である」、「『ARみえるでござる』を実際に使ってみようと思った」などといった意見が寄せられ、子どもから大人まで「ARみえるでござる」の認知度が徐々に高まっていることを実感した。

「ARみえるでござる」の利用者数は、令和6年度出水期中に約2,000ユーザーとなり、また、「鳥取県治山砂防課」の公式Instagramのフォロワー数は、令和7年7月10日時点で580人を超えた。「ARみえるでござる」の操作説明など、関連動画の合計再生回数は約1万回に達し、数値としても、土砂災害防止に関する啓発活動の効果が確認できている。



防災教育



出前講座



テレビ出演



ラジオ出演

防災教育・出前講座や広報活動状況

### 4. おわりに

今回、『土砂災害リスクを見える化！子どもから大人まで楽しみながら学ぼう！』ということで、土砂災害防止にスポットを当てた啓発活動を進めてきた。しかし、土砂災害と同様に、豪雨による水害も重要な課題である。今後は、今回の体験を踏まえ、水害・土砂災害と連携した情報発信も重要であると考えており、本県としては、河川部門と連携し、積極的に取り組む所存である。



「ARみえるでござる」地域密着広報誌での掲載

賛助会員 中電技術コンサルタント(株)